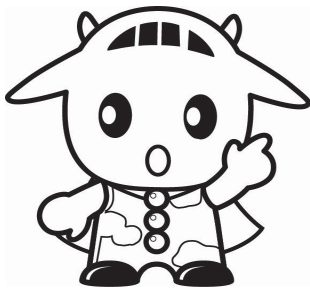


※一般質問の掲載記事は議員本人が作成しています。

# 一般質問

11名

市政を質す！



- P14 長木 福植 小谷 戸香 長島 石
- P15 島村 島木 川仲 田取 津田 井
- P16 幸喜 や弘 賢和 見憲 智清 一
- P17 男 一 子 治 雄 良 一 之 郎
- P18 旭

※質問順

皆さんの生活にかかわる大切な内容について、市議会議員が市に対して行う質問です。



## 旧橘小学校跡地の利活用と今後のスケジュールは

防衛省と移転補償契約後に校舎を解体、土地は市が無償で借り、整備後、市民に交流の場として開放する

### 長島 幸男

**Q** ①移転補償契約の内容は。

**A** 教育部長 騒音区域による移転措置事業により去る7月30日に校舎、工作物等の移転補償として、約7億9千万円で契約を結んだ。

**②校舎等の解体時期は。**

**A** 教育部長 建物等の解体工事は、本議会の議決をもって9月下旬から令和4年2月末までを工期として進めていく予定。並行して、土地は境界の確認や売買契約の手続きを経て、来年3月までに防衛省への所有権移転をもって移転措置事業は完了となる。

**③旧橘小学校跡地整備検討委員会の設置は。**

**A** 文化スポーツ振興部長 有効な整備を検討する機関として、旧橘小跡地整備検討委員会を設置し具体的な整備方針を検討する。今年度は基本計画策定を進めていきたい。来年度以降のスケジュールについては、今年度に移転補償事業を行った土地

は、令和4年度に防衛省へ使用許可を申請するとともに、財源の確保に努めながら、令和4年度から測量や設計を開始、令和5年度には基本計画に基づき整備を開始したい。

**要望** 移転補償費と解体費等の差額は、公共施設整備基金へ積み立てるとしているが、老朽化している小川運動公園の整備に充ててほしい。また、校庭内にある記念碑、石碑、学校の沿革、二宮金次郎像、シンボルである橘の木がある。これらの移設、移植を要望する。今後のスケジュールが順調に進むよう期待する。

**その他の質問**

1. 小美玉市行財政改革
- ①これまでの行財政改革の取組みと成果
- ②第4次行財政改革
- ③基金・市債
2. そら・らら近隣の火災
- ①これまでの行政指導とその経過及び結果
- ②今後の効果ある対策は（再発防止等）

所有者不明土地建物の問題解決へ向け助成を

持続化可能な行政運営のため、助成金導入を検討する



木村 喜一

**Q** 実質的に所有者不明となっている土地・建物の問題解決について市の対応策を伺う。

**A** 総務部長 死亡届出人に対し相続登記の案内チラシを渡すなど、相続登記の必要性に関する周知、啓発を行っている。

**Q** 増加し続ける相続放棄不増産を抑制するために相続登記料の一部助成を望むが、市の考えは。

**A** 総務部長 国の動向や先進事例を注視し、持続可能な本市の行政運営のために助成金の導入に向けて検討していく。



**Q** 本市の地球温暖化対策で、ゼロカーボンシティ宣言、クールチョイス宣言をしているが達成するために何をどのように推進し、どこを目指すのか。具体的な取組事業は。

**A** 市民生活部長 第2回環境フェスティバル事業の取組みとして、環境エコポイントや、おみたま環境かるたを実施している。

**Q** 電気自動車の普及を促すため、車両購入者への補助金を拡充し、充電設備などの交通インフラ整備に市が関与して低炭素社会に向けてのまちづくりを望むが。

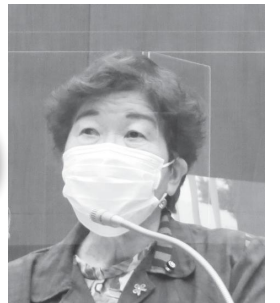
**A** 市民生活部長 二酸化炭素の排出量抑制や市民のエコライフやエコドライブを支援するため、市内の公共施設に充電スタンド施設の設置や公用車の電気自動車等の導入を目指す。



**その他の質問**  
 ●「コロナ禍における救急搬送体制」  
 ●鶏卵の殻を用いた良質再生紙の活用を図り地域資源の循環を要望する。

オスプレイ来るなの市民の声を受け止めて！

市民の安全・安心を第一に考え引き続き国に対し要請する



福島 ヤヨヒ

**Q** オスプレイ飛来について市民に十分な説明がされたか。市長は来るなの市民の声に聴いて欲しい。

**A** 都市建設部長 北関東防衛局に対して今後も市民の要望について丁寧な説明を求めていく。

**Q** 情報の管理と共有化について管理体制は充分か。市民館等を使用する場合の情報共有化は計られているか。公民館使用申請書などの統一化を願うが。

**A** 総務部長 情報取り扱いなどについては研修を重ねていきたい。今後は申請書などの統一化を図っていく。

**Q** コロナワクチン接種について、子どもたちへの対応はどのようになっているか。コロナ対策としてはまずはPCR検査が大切と思うが、他県で行われている、いつでもどこでも何度でも無料での体制はできないものか。市独自の対策はあるか。

**A** 保健衛生部長 子どもワクチン接種については、集団接種で16歳以上が9月から、12歳以上が10月から予約受付を行う。PCR検査については、濃厚接触者は保健所で、発熱の場合は医師の判断でとなっている。費用の問題等もあり検査の優先度が高くなった場合は速やかに対応するよう検討していく。

**Q** 臨時休校が続いているが、オンライン授業の状況と、親が不在となった場合の対応について伺う。

**A** 教育長 臨時休校の間は、オンライン授業を行う。いばらきオンラインスタデイの視聴やビデオ会議システム活用での双方向学習など発達段階に応じて進めている。親が不在などで対応のむずかしい児童は学童等で対応していく。

**Q** 野良猫の対策はできているか。避妊に対する補助制度の拡充を願う。

**A** 市民生活部長 野良猫の避妊・去勢は地域猫の助成制度の活用により相談者は少額の負担で実施できる。

## コロナ感染自宅療養者への支援を求める

県より要請があれば対策本部で取組みを協議していく



### 植木 弘子

1. コロナウイルス感染症対策  
Q ワクチンに関する正しい  
情報発信を求める。  
A 保健衛生部長 市のホーム  
ページで副反応等について国が提  
供する首相官邸ページへアクセ  
スできる環境を整備している。  
要望 もう一段階親切的な発  
信、チラシの活用を求める。

2. 教育部署  
① コミュニティスクールの  
進捗状況  
② AEDの屋外設置  
③ 幼児・小中学生のコー  
ナ関連欠席者の取扱い  
3. 高齢者支援  
(1) 軽度認知障害の早  
期発見を目的とする認知  
機能テストの導入  
(2) 支援サービスの申  
請方法  
4. 飲酒運転根絶に向け  
た取組み  
・ 活発な情報発信  
・ 学校等における「飲酒  
教育」の実施  
・ 定期的な啓発イベント  
の開催

令和3年8月 県民生活部 厚生労働省

### 新型コロナウイルスについて 皆さまに知ってほしいこと

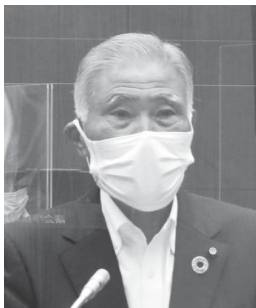
～ワクチンに関する情報を、正確に、わかりやすくお伝えします～

- ① 新型コロナウイルスは、感染を防止し収束に向かわせる切り札です。  
あなたが接種する新型コロナウイルス(メッセンジャー-mRNAワクチン)は、2回の接種によって、高い効果が認められています(※発症予防効果約95%。なお、インフルエンザワクチンの有効性は約40～60%)。接種が進む世界の国々では、コロナ感染への効果が現れています。
- ② 新型コロナウイルスは、あなたご自身のためだけでなく、医療機関の負担を減らすための重要な手段にもなります。  
新型コロナウイルスは、まだまだ未知のことがあります。令和3年7月末までに、約92万人が新型コロナウイルス感染症と診断されており、1.5万人以上の方が亡くなっています。こうした中で、多くの方に接種を受けていただくことにより、重症者や死亡者を減らし、医療機関の負担を減らすことが期待されます。
- ③ ワクチン接種によるメリットが、副反応のリスクより大きいので、接種をお勧めしています。  
接種後には、体がワクチンに反応して、接種部位の痛みなどの局所反応や、発熱、頭痛などの全身性の反応が生じる可能性があります。これらの反応は、1回目より回目が多くなり、年齢が上がるにつれて軽くなる傾向があります。接種は体調が悪くないときに受け、接種後はゆっくり過ごすようにしましょう。接種後の痛みや発熱に対しては、市販の解熱鎮痛剤で対応いただくことも考えられます。  
アナフィラキシーなどの重いアレルギー反応を起こしたことがある方は、通常より長く(30分間)経過を見て、万が一アナフィラキシーが起きても医療従事者が必要な対応を行っています。

掲載の内容は、今後見直される場合があります。

## 茨城空港アクセス道路周辺の企業立地の適地選定の検討は

常磐自動車道からのアクセスの良さを生かした適地検討に取り組む



### 小川 賢治

1. 企業誘致事業  
Q 雇用機会、税収の確保は。  
A 産業経済部長 地元企業と地元学生を対象とした就職説明会を毎年2回開催。昨年度は参加企業21社、参加者223人が参加し、雇用機会の確保に努めている。令和2年度の税収は事業所数が1,152社、税額は約5億6,400万円。  
Q 地元企業や産業の活性化は。  
A 産業経済部長 企業を訪問し、事業所などの新設増設に対する市の優遇制度などを紹介し、市に対する要望等の情報交換を行っている。  
Q 茨城空港アクセス道路周辺の企業立地の適地選定の検討は。  
A 産業経済部長 沿道の農地や山林の諸条件の把握を行い、常磐自動車道からのアクセスのよさを生かした適地の検討に取り組みたい。

2. 観光の振興  
Q 交流人口の増加策は。  
A 産業経済部長 市の魅力発信、空港への利便性を広く周知するため常磐自動車道守谷サービスエリアでPR活動を実施、さらに様々な手法によるプロモーションを行い、交流人口の増加に努める。  
Q 霞ヶ浦沿岸地域に関する市場調査は。  
A 産業経済部長 霞ヶ浦周辺エリアは景観や周辺環境などの地理的条件が整っており、キャンプ場などの施設を整備することにより、魅力ある観光拠点となる可能性があるという評価された。  
3. 空のえき管理運営  
Q 来場者数の満足度は。  
A 産業経済部長 一般利用者向けアンケートでは、満足、ほぼ満足、普通との回答者が83.1%。  
Q 駐車場不足の解消は。  
A 産業経済部長 今年度策定しているまちづくり構想の「さらさら拡張」の基本計画の中で検討中。



▲茨城空港アクセス道路(三箇地内)



▲空のえき そらら 駐車場



予算硬直化の現状を踏まえ行政評価の導入は

後期基本計画（R 5年度）からの本格導入を目指す



谷仲 和雄

**Q** 予算硬直化の現状を踏まえ、公共の関与する度合いを基準に優先順位を付けていく行政評価システムが必ず必要と考える。これについて、後期基本計画から導入を図るべきと考えるが、所見は。

**A** 企画財政部長 後期基本計画からの行政評価導入を目指しスケジュール調整を進めている。対象は総合計画の個別施策を想定し「事業の進捗状況の把握」「適正な事務事業構成」「市民等との役割分担の妥当性」などを踏まえ総合的に評価し第三者委員会で協議していく方向で考えている。

**Q** サツマイモ基腐病の防除対策は。

**A** 産業経済部長 県をはじめJAなどの関係機関と連携しながら情報収集を図るとともに広報紙等を通じて幅広く注意喚起を行っている。



**Q** 予防保全型維持管理の実効性を担保する道路維持補修計画の策定状況は。

**A** 都市建設部長 現在、維持補修計画の基礎となる道路台帳のデジタル化を進めている。旧路線番号を見直し、市内主要地域を結ぶ道路や国道・県道を補完する道路を1級市道、1級市道を補完する道路を2級市道として認定する計画。これらの結果、道路利用形態を考慮したネットワークが明らかとなり、交通の程度に応じた効率的な補修・修繕が可能となる。見直しは今年度末に完了予定、併せて1級・2級市道における補修計画案ができる見込み。

信頼回復のため、どうしたら

全体の奉仕者であることを自覚し公務の信用保持に努めていく



戸田 見良

**Q** 小美玉市のコンプライアンス。その後の取組みと防止対策、コンプライアンスを徹底するための部長・課長の役割は？

**A** 総務部長 市長より綱紀粛正及び法令遵守の徹底について訓示を行い、一般行政職員を対象としたコンプライアンスに関する実態調査アンケートを実施した。また、部長・課長は職員倫理規程により役割が定められており、注意喚起等を行っている。

**Q** 実態調査のアンケートの内容は？

**A** 副市長 過去5年間に於ける不当要求の有無と内容、職務上の利害関係者からの付き合い要求の有無、コンプライアンスに関する職員の意識など全体で31問のアンケート調査を行った。集計結果は、今定例会最終日の全員協働議会で報告予定。



信頼回復 !!

**Q** 検証委員会ではなく、独立した機関が調査及び検討すべきで、第三者委員会設置が必要では？

**A** 総務部長 本市では第三者性を担保するため、弁護士がアドバイザーとして参加している。

**医療行政について**

**Q** 市民の不安を払拭するのには抗原簡易キットの配布は？

**A** 保健衛生部長 優先度が高いと判断された場合に市の対策本部会議で取り組みを検討する。

**Q** 保護者感染によるお子さんの預け先は？

**A** 保健衛生部長 子含め濃厚接触者となり、一定期間自宅において健康観察が指示され、その期間、外部の方との接触が制限されるため、いい知恵がなかなかなく、市としても難しい。

**その他の質問**

● 感染症と共存していくまちづくりを踏まえて5年後の小美玉市について重要施策から所見を伺う。



## オスプレイまずは騒音地区住民への説明を

### 連絡体制を強化し、より迅速な情報提供を図る

#### 香 取 憲 一

**Q** 今回の陸上自衛隊オスプレイの百里基地への移動訓練における市の一連の対応について

**A** 都市建設部長 対応の諸準備のさなかに新聞報道が先行してしまい、結果として市民の皆様へ情報提供が遅くなってしまった事について誠に申し訳なく、深くお詫び申し上げます。

**Q** 情報が入った時点でまずは速やかに騒音地区住民の皆さんに説明に赴くべきではなかったのか。

**A** 市長 住民の皆さんへの説明が結果として遅くなってしまった事は、深く反省している。今後このような事がないよう、また基地周辺の住民の皆さんの事故に対する心配や不安を払拭できるような体制作り、地元の皆さんの声を丁寧に聞きながらご理解を賜る事が、基地との共存共栄につながるものと考え、百里基地周辺整備協議会の皆さんからの要望でもある協定書締結に向けても、周辺

住民の皆さんの声をよく聞き、防衛省側とも話を詰めて、不安のない環境作りと安心した中での両者の応援体制を整えられるよう全力で取り組んでいく。

**Q** 今回詳しい情報をおろさなかった防衛局に対し、更に強く物申すべきではないのか。

**A** 都市建設部長 周辺住民の皆様の声をしつかり防衛省側に届け、丁寧な説明やまちづくりにおいての合意形成を強く求めていく。

**要望** 防衛関連の補助・交付金等は基地周辺住民の永年に渡る騒音被害に耐え忍んでいる犠牲的現実の上になり立っていることを決して忘れないで欲しい。



▲百里基地飛来の陸上自衛隊のオスプレイ

## 職員の不祥事後の原因究明や市民への信頼回復は

### 小美玉市職員不正事案検証等委員会を立ち上げた

#### 長 津 智 之

**Q** 市職員が逮捕されるというあってはならない不祥事が起こり、全市民の信頼を裏切り、市の名を汚した事件についてどのように原因究明を行い、市民に対して信頼回復をしていくのか伺う。

**A** 総務部長 元総務部長の逮捕、起訴された汚職事件を受け、市は6月に小美玉市職員不正事案検証等委員会を立ち上げ、不正事案の原因究明、現行制度の検証、再発防止策の検討を行っている。

**Q** 検証委員会はこれまで何回開催されたのか。

また、委員会のメンバーはどのような方々なのか伺う。

**A** 総務部長 これまで4回の委員会を開催、メンバーは委員長に副市長、副委員長に総務部長、委員は、政策監として市長公室長、企画財政部長、教育部長、秘書政策課長の6名で、第三者性を担保するため、弁護士が参加している。

**Q** 検証結果をどのような形で市民に報告する予定なのかスケジュール等を伺う。

**A** 総務部長 委員会の活動内容の報告は、今定例会最終日の全員協議会で中間報告を行い、今後については、調査の結果に基づき分析と問題点の洗い出しを行い、再発防止策の策定を進め、第4回定例議会にて最終的な報告をする予定だが、公判の状況によっては遅れる場合もある。

**要望** 今回の不正事案検証委員について、市の法制のアドバイザーという身内の弁護士ではなく、他の弁護士や司法書士、元警察官や、市役所のOBなどを入れて、たくさんの角度からこの事件の起因や要因を調査してほしい。

#### その他の質問

市職員の定年後の再任用制度等の対応

① 一般職任期付き職員の採用等の詳細

② 理事職や参事職等の必要性

③ 県内市町村の採用状況

④ 行政改革との整合性



コロナウイルスに感染したときの治療体制

保健所および県の業務として対応している



島田 清一郎

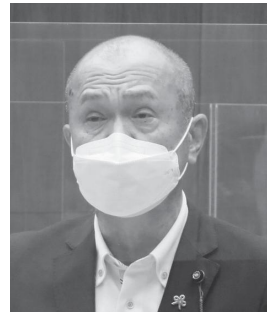


**Q 医療体制について**  
**A 保健衛生部長** 感染者の搬送先の確保は保健所（水戸市）の業務となり、健康観察および調査を行い入院が必要な場合は指定医療機関（公表なし）へ救急車で搬送されている。病床と医師、看護師の確保は県で取り組んでいる対策で、感染症法12条2に基づいて、コロナ感染症の患者を受け入れていない医療機関に対し、受入要請をしており、9月中旬には814床を確保できる。（病床の稼働数は9月8日時点で381床）この取り組みの中で、医師・看護師も確保している。

**Q 自宅療養者の支援体制について**  
**A 保健衛生部長** 医療機関との連絡は県の業務で、受診受け入れや検査の実施可否などの県内の情報を取りまとめ、医療機関と情報共有を図っている。自宅療養者の支援は、保健所が状況を確認したあと、支援が必要な方には委託された宅配業者が食料品を届けるなどの支援を実施している。市は感染者の情報が届かないため、保健所機能逼迫などで業務協力要請があった場合に協力する想定をしている。自宅療養者のへの人口呼吸器を活用した酸素療法は医師の処方により行われるが、県内の人工呼吸器を装着する必要がある方は、全員入院治療で対応できている。  
**要望** 保健所が集団発生等により業務ひっ迫状態になった時は、いつでも業務協力ができる危機管理体制を万全に想定し、連携不備による不幸な事態が起きないようにしてほしい。

コロナ感染自宅療養者に『置き配』の実施を提案する

先行で実施している自治体を参考に対応していく



石井 旭

**Q** 新型コロナにより病院の受入が逼迫している中、自宅療養者の対策が重要である。土浦市などで玄関先に食料品などを置く『置き配』を実施しているが、是非、小美玉市においても実施出来ないか提案する。

**A 市民生活部長** 中延地区は、行為者に対し土砂の埋立て中止、そして土砂の撤去指示書、さらには土砂撤去の措置命令書などを送付し、中止や撤去等を命じたが、現在も撤去されない状況のため、引き続き県や警察と連携して土砂の撤去を求めていく。宮田地区の営農型太陽光発電施設については、農地に支柱を立てて上部空間に太陽光発電施設を設置、太陽光を農業生産と発電とで共有するもの。農作物はサカキを栽培している状況である。どちらの地区も堆積した土砂に、現在大きな崩落等は確認されていないが、引き続き定期的に現地確認やドローンを使用しての監視等を行っていく。

**Q** 違法残土対策について中延地区の残土堆積箇所が台風時期となり、崩れ落ち危険な状況である。行為者に引き続き撤去要請しているのか。また、宮田地区の営農型太陽光発電施設で農地法の許可を受け、未だ栽培が行われていないと聞き、許可違反と思うが、農業委員会の指導はどのようにしているのか。また、事後調査は行っているのか伺う。

**A 農業委員会事務局長** 本年4月に事業者の協力を得て地元農業委員などによる現地の立ち入り調査を実施した。計画に示された定植状況は、一定の収量を上げなければならぬことから、計画に基づく営農になるよう指導している。